

横田基地オスプレイ 3機が入れ替え

2018年4月5日に、5機横田基地に配備されたCV-22B オスプレイは、2021年7月6日に、1機追加配備され、6機常駐していました。

今年6月2日、3機(13-0067, 13-0069, 14-0074)が横浜港ノースドックに行き、米国貨物船に積み込まれ、米本土へ運ばれました。

6月9日、替わりの3機(08-0051, 10-0054, 12-0066)が横浜港ノースドックを飛び立ち横田基地に飛来しました。

現在、横田基地に配備されている CV-22B オスプレイは6機となります。右表

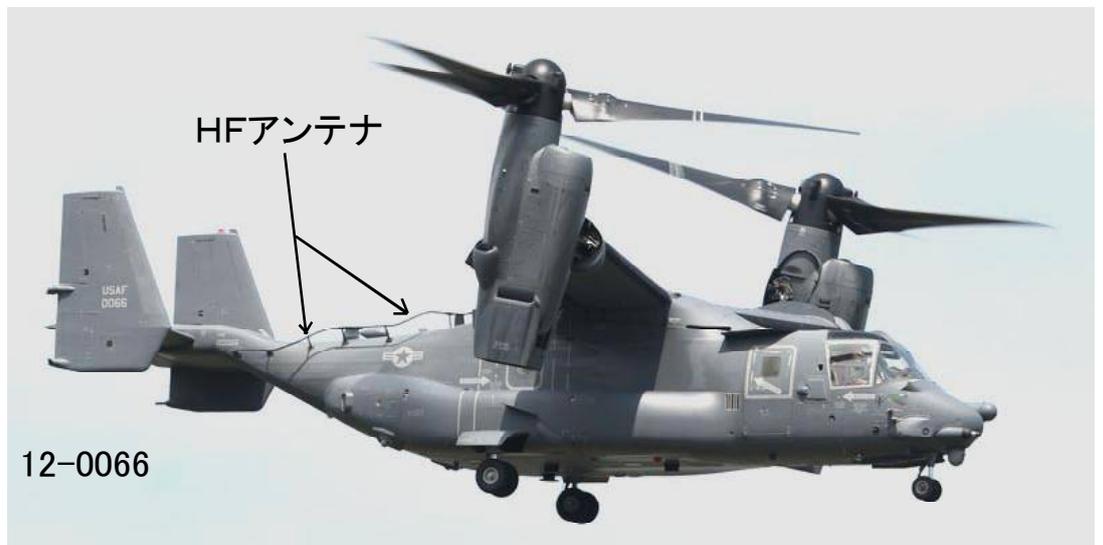
今回来た3機は、低空での作戦に有利なHF通信機を装備しています。なお、海軍のCMV-22オスプレイ、陸上自衛隊に配備されたV-22オスプレイもHF通信機を装備しています。

CV-22Bの機体塗装は従来の2色から、1色となりました。

訓練形態は2018年配備当初は16時～22時で、横田基地と東富士演習場での訓練が主でしたが、現在は、9時～22時で、千葉房総半島沖、長野県山中、四国沖、三沢、岩国、韓国、沖縄他様々なところへ出かけています。

機番	飛来年月日	HF	色	元の所属
08-0051	2022.06.09	HF	1色	Mildenhall/RAF ※
09-0046	2021.07.06	HF	2色	Mildenhall/RAF ※
10-0054	2022.06.09	HF	1色	Albuquerque /New Mexico
12-0066	2022.06.09	HF	1色	Cannon /New Mexico
13-0071	2018.04.05	—	2色	
14-0075	2018.04.05	—	2色	

※ イギリス空軍基地(Mildenhall/Royal Air Force)に駐留している米空軍特殊部隊 352SOW に所属していた



7月も戦闘機が次々飛来



7月9日に2機飛来した アラスカ州イーロン基地の最新鋭ステルス戦闘機F-35A

翌日離陸



東京・横田基地に飛来した米ユタ州ヒル空軍基地のF35A戦闘機＝7月25日（羽村平和委員会提供）

7月後半に在日米軍横田基地（東京都多摩

米ユタ州F35横田飛来 対中作戦想定、グアムに展開

7月25日に離陸した2機のF35A戦闘機は昭島市、あきる野市、青梅市、瑞穂町上空を2周し、「戦闘機が4機飛んでいた。うるさかった」という声が多数寄せられました。

地域5市1町）に飛来した米本土ユタ州ヒル空軍基地のF35A戦闘機は、対中国を想定した作戦でグアムに展開していた部隊だったことが3日、わかりました。

横田基地の監視活動を続けている羽村市の羽村平和委員会によると、飛来したのはヒル空軍基地の第388戦闘航空団の第34、第421の両戦闘飛行隊の6機です。7月19日に2機、22日に4機が飛来。25日に最初の2機が、28日には残りの4機も横田基地を離れました。

横田基地の米空軍第374空輸航空団広報部は8月1日に、グアムでの迅速戦闘運用（ACE）作戦実施後に、横田基地に飛来したことを明らかにしました。ACEは、米空軍が、東シナ海、南シナ海を囲む「第1列島線」など中国の防衛ライン周辺の飛行場や基地に、戦闘機部隊とともに輸送機で支援部隊や資材、燃料を投入し、迅速に戦闘態勢をつくり作戦を実施するものです。

赤旗 2022年8月4日

7月31日10時14分 米海軍の電子戦戦闘攻撃機 EA-18G が2機飛来、11時33分離陸